



所信声明 助産師、女性と人権 Midwives, Women and Human Rights

背景

国際助産師連盟（ICM）の「助産師の倫理綱領¹」は、助産師がすべての人々の人権、特に女性の人権を承認・擁護・尊重することの重要性を強調している。具体的に言うと、セクション 3-d で「助産師は、倫理や人権の侵害が女性や新生児の健康にもたらす悪影響について理解し、そのような侵害をなくすよう働きかける」と定めている。世界保健機関（WHO）も、女性とその家族の健康を保護・増進するために、女性の権利を拡大することの必要性を確認している。ICM は、すべての女性が持つ人権への支援を宣言する。また、助産師の大多数が女性であるため、助産師に医療ケアを求める女性たちと同様に、助産師自身も人権のネグレクトを経験する可能性が高いことも認識している。

所信声明

「助産師の倫理綱領」および国連「世界人権宣言」に沿って、ICM は、女性が尊敬されるに値する存在であり、あらゆる状況で尊厳を持った扱いを受けるべきであることを強調する。

ICM は、助産師を含む女性が人権を獲得し、人権の行使に生じる責任を理解するためのあらゆる取り組みを支持する。

ICM は、特に個々の助産師や女性が、自らの支持する一般的な倫理原則と、自分の家族や地域社会の価値観や習慣との間で軋轢を感じている場合、人権の達成に向けて努力するのが困難であると認識している。

¹ ICM. International Code of Ethics for Midwives

会員団体への推奨

ICM は、会員団体に以下の行動を求める。

- すべての女性が人権を達成できるよう支援するために、この声明を各組織で採択できる対応を講じ、助産師や他の分野の同僚、保健政策立案者の間に広く普及させること。
- それぞれの地域社会で女性の人権に関するテーマの継続教育を提供すること。

助産師に対して以下の行動を求める。

- あらゆる環境において、倫理的で人権に配慮した保健医療の取り組みを実践するよう努力すること。
- 世界中で倫理と人権の原則が助産の教育課程に取り入れられるよう、これを推進すること。

関連 ICM 文書

ICM. 2008 基本文書 ビジョン

ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理綱領

ICM. 2017 基本文書 ICM 助産師の定義

その他の関連文書

WHO. 2015. Factsheet No 323. Health and Human Rights.

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs323/en/>. [accessed 15-12-2016] WHO. 2015. Sexual health, human rights and the law.

http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/175556/1/9789241564984_eng.pdf?ua=1 [accessed 15-12-2016]

IPPF Charter on Sexual and Reproductive Rights: Vision 2000 (1996)

IPPF. 2008. Sexual Rights. An IPPF Declaration.

http://www.ippf.org/sites/default/files/sexualrightsippfdeclaration_1.pdf [accessed 15-12-2016]

UNFPA. Beijing at 15. UNFPA and Partners Charting the Way Forward. (2010)

UN. 1948. Universal Declaration of Human Rights.

http://www.ohchr.org/EN/UDHR/Documents/UDHR_Translations/eng.pdf [accessed 15-12-2016]

UN. 1979. Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women.

<http://www.un.org/womenwatch/daw/cedaw/> [accessed 15-12-2017]

2002年ウィーン国際評議会にて採択

2017年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。